

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成30年6月】

■調査概要（データ対象期間：平成30年6月1日～6月30日）

- 調査期間：平成30年7月3日～平成30年7月23日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業23企業、製造業22企業、卸売業15企業、小売業25企業
飲食業19企業、サービス業47企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計151企業>
- 調査項目：6月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI・水準DIともにマイナス幅が縮小

1. 業況判断

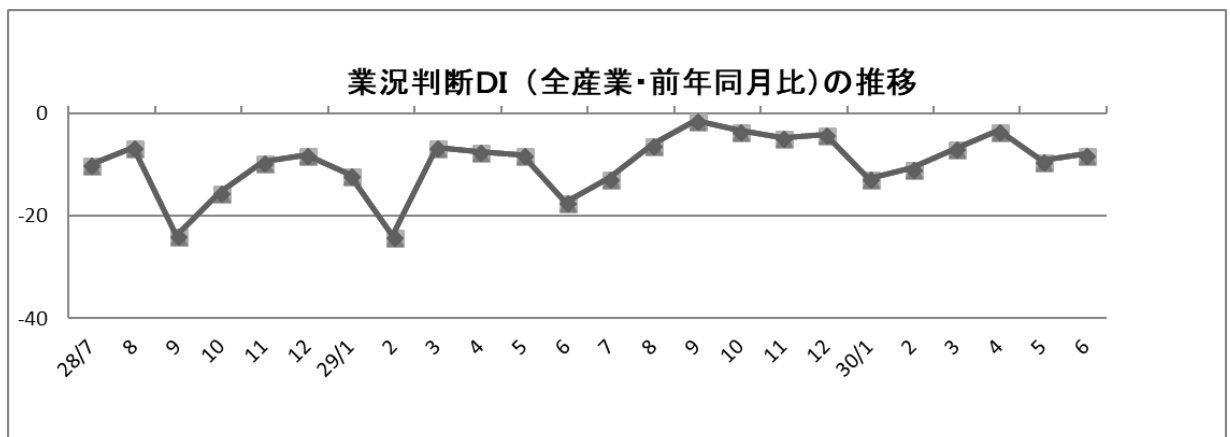
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲9.2）よりマイナス幅が1.3ポイント縮小し、▲7.9となった。業種別では、サービス業はプラス幅が拡大し、建設業、卸売業はプラスからマイナスに転じた。小売業、飲食業、製造業はマイナス幅が縮小した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲17.2）よりマイナス幅が4.6ポイント縮小し、▲12.6となった。業種別では、サービス業はマイナスからプラスへ転じ、卸売業はプラスからマイナスへ転じた。建設業は0からマイナスとなった。小売業、製造業はマイナス幅が縮小し、飲食業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	16.6 (14.6)	58.9 (61.6)	24.5 (23.8)	↗ ▲7.9 (▲9.2)	15.2 (13.9)	57.0 (55.0)	27.8 (31.1)	↗ ▲12.6 (▲17.2)
建設業	17.4 (13.6)	60.9 (77.3)	21.7 (9.1)	↘ ▲4.3 (4.5)	4.3 (13.6)	69.6 (72.8)	26.1 (13.6)	↘ ▲21.8 (0.0)
製造業	18.2 (15.0)	54.5 (60.0)	27.3 (25.0)	↗ ▲9.1 (▲10.0)	18.2 (15.0)	40.9 (30.0)	40.9 (55.0)	↗ ▲22.7 (▲40.0)
卸売業	13.3 (40.0)	53.4 (46.7)	33.3 (13.3)	↘ ▲20.0 (26.7)	20.0 (33.3)	40.0 (53.4)	40.0 (13.3)	↘ ▲20.0 (20.0)
小売業	20.0 (3.2)	44.0 (48.4)	36.0 (48.4)	↗ ▲16.0 (▲45.2)	20.0 (6.5)	44.0 (38.7)	36.0 (54.8)	↗ ▲16.0 (▲48.3)
飲食業	10.5 (11.1)	52.6 (50.0)	36.8 (38.9)	↗ ▲26.3 (▲27.8)	10.5 (11.1)	52.7 (55.6)	36.8 (33.3)	↘ ▲26.3 (▲22.2)
サービス業	17.0 (15.6)	72.4 (73.3)	10.6 (11.1)	↗ 6.4 (4.5)	17.0 (13.3)	72.4 (68.9)	10.6 (17.8)	↗ 6.4 (▲4.5)

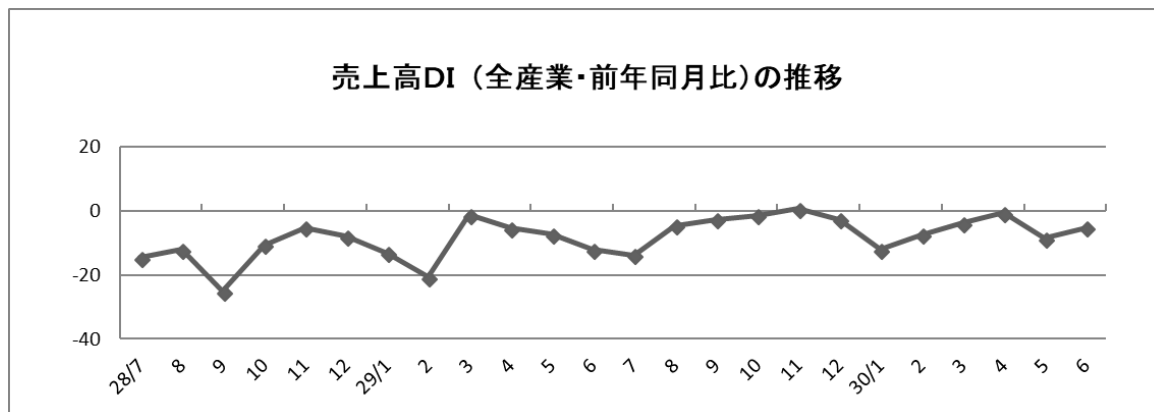
()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
 「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲8.6）よりマイナス幅が3.3ポイント縮小し、▲5.3となった。業種別に見ると、サービス業はプラス幅が拡大し、製造業はマイナスから0になり、卸売業はプラスからマイナスに転じた。小売業、飲食業はマイナス幅が縮小し、建設業はマイナス幅が拡大した。

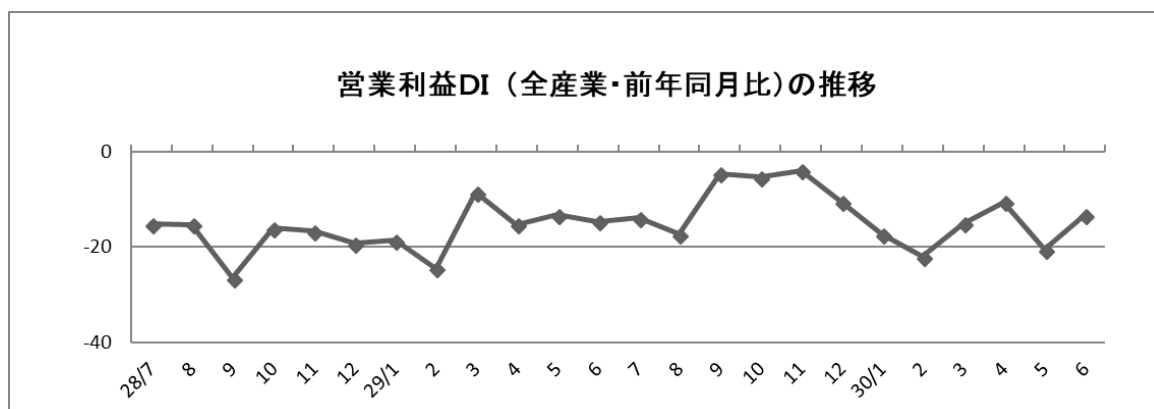


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全 体	▲12.0	▲13.9	▲4.6	▲2.7	▲1.4	0.7	▲2.6	▲12.0	▲7.4	▲3.8	▲0.6	▲8.6	▲5.3
建設業	▲14.3	0.0	8.7	23.8	13.7	20.0	20.9	0.0	14.2	16.6	4.6	▲4.6	▲8.7
製造業	0.0	▲31.8	8.7	5.2	▲4.5	0.0	▲13.7	▲4.3	▲14.3	▲14.3	8.7	▲5.0	0.0
卸売業	▲33.4	0.0	20.0	0.0	13.4	13.4	25.0	6.7	12.5	7.7	▲15.4	26.6	▲26.7
小売業	▲17.6	▲20.6	▲15.2	▲16.1	▲12.9	▲20.7	▲16.7	▲33.3	▲18.2	▲11.5	▲10.7	▲38.7	▲8.0
飲食業	▲26.6	▲44.4	0.0	▲15.0	▲20.0	0.0	▲23.5	▲25.0	▲35.0	▲11.1	▲25.0	▲22.2	▲21.1
サービス業	0.0	2.4	▲22.5	▲4.2	4.9	0.0	▲2.5	▲9.5	0.0	▲2.7	10.2	2.3	8.5

3. 営業利益DI（前年同月比）

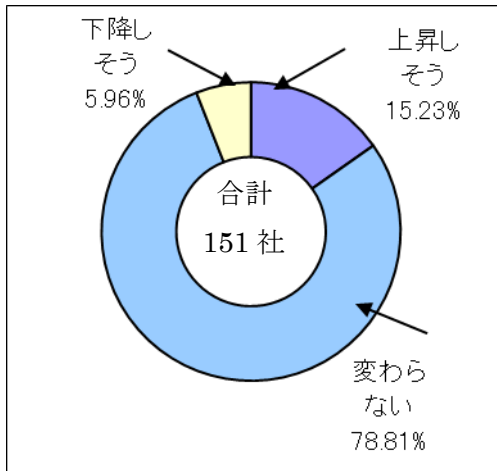
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲20.5）よりマイナス幅が7.2ポイント縮小し、▲13.3となった。業種別に見るとサービス業はマイナスからプラスに転じた。小売業はマイナス幅が縮小し、卸売業、製造業、飲食業、建設業はマイナス幅が拡大した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

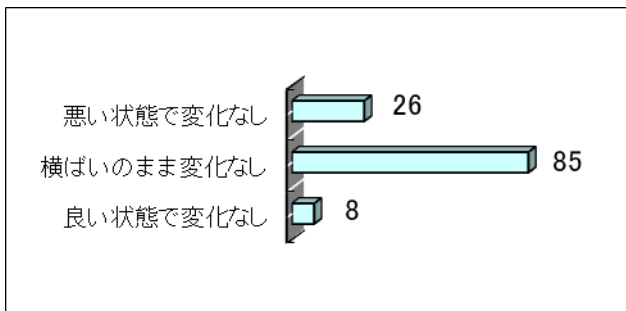
	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全 体	▲14.7	▲13.9	▲17.3	▲4.6	▲5.3	▲4.0	▲10.6	▲17.3	▲22.0	▲15.1	▲10.6	▲20.5	▲13.3
建設業	▲28.6	▲4.7	▲21.8	4.7	13.6	8.0	▲4.2	▲13.1	▲14.3	▲22.2	▲22.7	▲13.6	▲21.7
製造業	▲4.7	▲36.4	▲8.7	5.2	▲9.1	5.0	▲4.6	▲4.4	▲47.6	0.0	▲4.4	▲15.0	▲18.2
卸売業	▲20.0	▲6.6	13.4	▲16.7	6.7	▲13.3	0.0	0.0	▲37.5	▲23.1	▲15.4	▲6.6	▲6.7
小売業	▲20.6	▲17.6	▲21.2	▲9.7	▲9.7	▲20.7	▲20.0	▲33.3	▲15.1	▲26.9	▲25.0	▲54.9	▲20.0
飲食業	▲26.6	▲38.9	▲25.0	▲10.0	▲25.0	0.0	▲23.5	▲30.0	▲35.0	▲22.2	▲31.2	▲33.3	▲36.9
サービス業	▲2.3	4.9	▲25.0	▲4.3	▲4.9	▲2.3	▲9.8	▲16.7	▲5.1	▲5.4	8.1	▲2.3	4.3

◇ 向こう3ヵ月の見通し ◇



○平成30年7月～平成30年9月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ1.98ポイント増加し15.23%、「下降しそう」が0.66ポイント増加し5.96%となった。業種別の見通しDIは建設業(13.1)、製造業(▲4.6)、卸売業(0.0)、小売業(4.0)、飲食業(21.0)、サービス業(14.8)であった。

➡「上昇しそう」では「手持ちの物件があるため」「公共事業の発注が始まるため」(建設業)「新規製品の立ち上げのため」「受注量の増加が見込めるため」(製造業)「ジュエリーのリフォーム等の認知度が上がってきたため」(小売業)「観光客の増加が見込まれるため」(飲食業)「スポットの仕事が入ってきているため」「観光シーズンに入るため」「再構築の大きなプロジェクトについて、研修、請求が始まるため」「新しい商品の需要が高く新規のお客様も多く購入されているため」「7月、8月はフットネイルのお客様が増えるため」「これから公共事業の発注が増えてくるため」(サービス業)といった声が寄せられた。

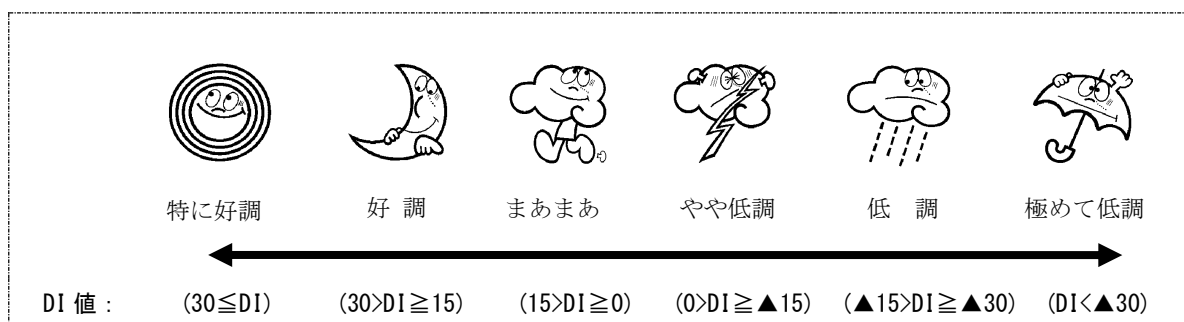


➡「変わらない」では「5月に比べて6月は売上が改善したため」「受注量が多く望めるため」(建設業)「最も忙しいシーズンのため」(飲食業)「梅雨明けはしたが、まだ梅雨空が続きそうで夏の天気が読めないため」「職業訓練受講者が若干増加傾向にあるが、これ以上の増加は期待が薄いため」(サービス業)といった声が寄せられた。

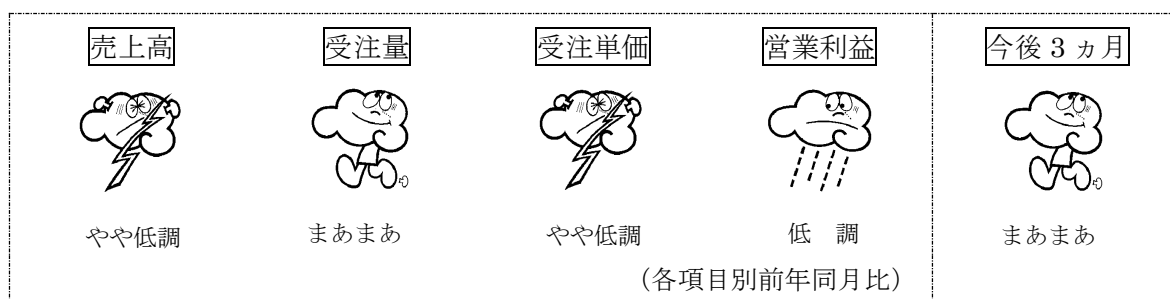
➡「下降しそう」では「全然売れないため」「豪雨災害の影響のため」「米中の保護貿易政策が懸念されるため」「ここ2、3ヵ月が良すぎたので多少落ちると予想されるため」(製造業)「天候の悪化による野菜の高値が家計に影響して外食への金を落とさないとと思われるため」(飲食業)「大学の授業は前期で終わるため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



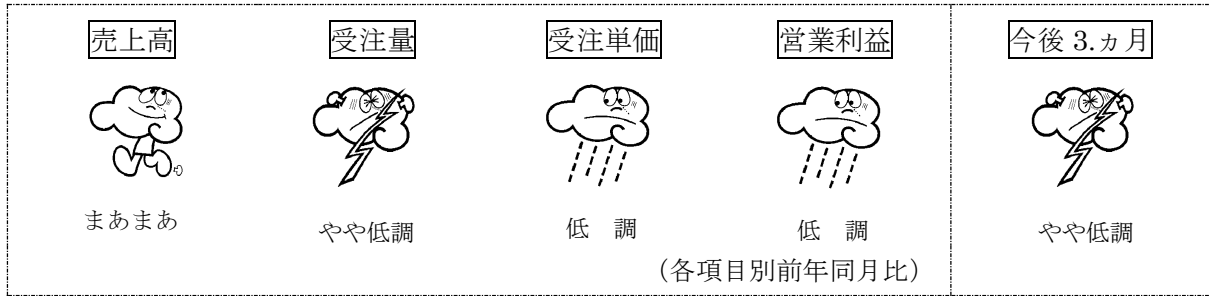
【項目別DIの推移】

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲14.3	0.0	8.7	23.8	13.7	20.0	20.9	0.0	14.2	16.6	4.6	▲4.6	▲8.7
受注量	▲33.4	0.0	▲8.7	9.6	18.2	4.0	12.5	▲8.7	19.1	▲9.5	▲4.5	0.0	0.0
受注単価	▲4.8	4.8	0.0	4.7	▲4.6	0.0	▲12.5	▲8.7	▲9.5	▲5.5	▲4.5	0.0	▲8.7
営業利益	▲28.6	▲4.7	▲21.8	4.7	13.6	8.0	▲4.2	▲13.1	▲14.3	▲22.2	▲22.7	▲13.6	▲21.7
見通し	9.5	14.2	4.4	0.0	▲4.5	4.0	0.0	8.7	14.3	0.0	4.5	18.2	13.1

<経営者の目・見方・etc>

- 管工事
 - ・売上は増えたがパーセンテージが低いので変化なし。仕入価格の上昇により利益に結びつかない。
- 土木工事
 - ・少子高齢化の中で人手不足と騒いでいるが、子育て世代への優遇策を進める必要があるのではないかと。
- 建築工事
- 総合建設
 - ・知事選挙が8月に行われた結果によって補正が組まれることを期待したい。
- 建設
 - ・公共工事の発注は少しずつ増えているが、相変わらず競争が激しく受注が難しい状況である。
- 鉄工
 - ・一部で「期ずれ」や「人手不足」が非常に顕著になっているようである。物件の発注は順調であるが、このような状況が続くと景気の減速や業界の停滞を招くような気がする。
 - ・2020年の東京オリンピックまで、良い状態で続きそう。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	0.0	▲ 31.8	8.7	5.2	▲ 4.5	0.0	▲ 13.7	▲ 4.3	▲ 14.3	▲ 14.3	8.7	▲ 5.0	0.0
受注量	0.0	▲ 27.3	4.3	15.8	▲ 9.1	0.0	▲ 13.6	▲ 8.7	▲ 14.3	▲ 9.5	8.7	0.0	▲ 4.5
受注単価	▲ 33.3	▲ 27.3	▲ 4.4	▲ 10.5	▲ 18.2	▲ 15.0	▲ 13.6	▲ 8.7	▲ 23.8	▲ 23.8	▲ 13.0	▲ 5.0	▲ 18.2
営業利益	▲ 4.7	▲ 36.4	▲ 8.7	5.2	▲ 9.1	5.0	▲ 4.6	▲ 4.4	▲ 47.6	0.0	▲ 4.4	▲ 15.0	▲ 18.2
見通し	▲ 4.7	▲ 4.5	0.0	▲ 5.3	0.0	▲ 5.0	▲ 9.1	8.7	9.5	▲ 14.3	▲ 8.7	15.0	▲ 4.6

<経営者の目・見方・etc>

印刷

・大手企業、あるいはその大手企業にかかわりのある中堅規模の企業は自社内に制作部門を持っているところも多い。しかし、その部署が、地元印刷企業に発注しているかと言えば、必ずしもそうではない。地元印刷企業が恩恵を受けられる印刷業は極めて少ないと思われる。

・横ばいの状況である。

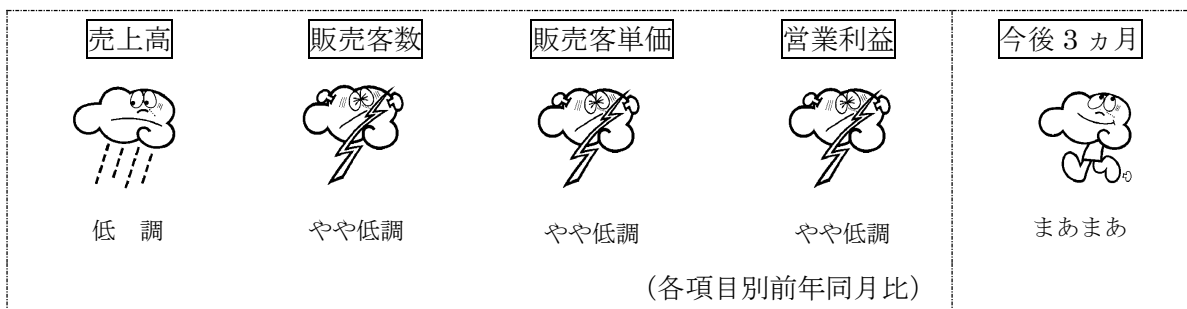
金属塗装

・ここ2、3カ月は塗装受注、売上が好調。銘板は多少落ち気味。減価やLPG(液化石油ガス)の高騰が心配。

菓子

・夏季の平均気温の上昇が菓子業界にはマイナスとなる。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 33.4	0.0	20.0	0.0	13.4	13.4	25.0	6.7	12.5	7.7	▲ 15.4	26.6	▲ 26.7
販売客数	▲ 20.0	6.6	6.7	0.0	▲ 6.7	6.6	0.0	0.0	0.0	▲ 15.4	▲ 7.7	0.0	▲ 6.7
販売客単価	▲ 26.6	0.0	6.7	▲ 8.4	6.6	13.3	18.8	6.7	18.7	23.1	0.0	▲ 6.6	▲ 6.7
営業利益	▲ 20.0	▲ 6.6	13.4	▲ 16.7	6.7	▲ 13.3	0.0	0.0	▲ 37.5	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 6.6	▲ 6.7
見通し	▲ 6.7	▲ 13.3	6.7	▲ 8.3	▲ 6.7	▲ 6.7	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 6.3	0.0	▲ 7.7	6.7	0.0

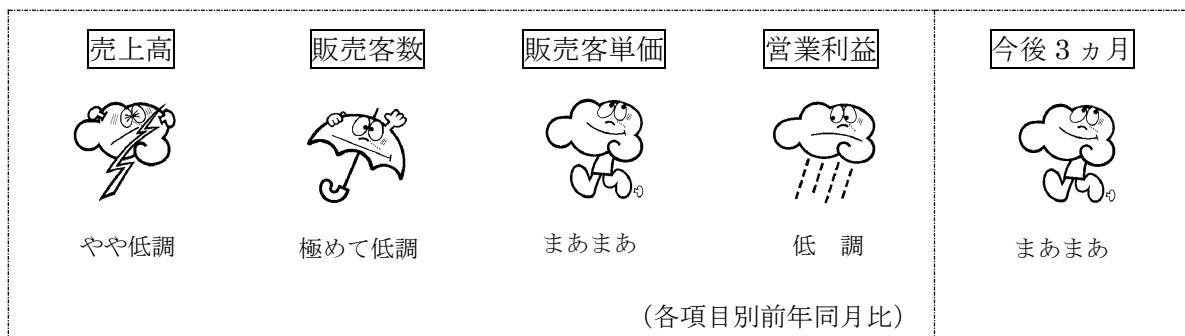
<経営者の目・見方・etc>

土産品

・観光地の土産品販売状況は厳しい内容である。全体的に観光客も減少しており、インバウンド効果も土産品には反映されていない。7月後半からの夏休みに期待したい。

金属製品	<ul style="list-style-type: none"> ・建築、建設機械、産業機械、自動車、半導体、各産業とも依然好調に推移している中、材料費、人件費、輸送費が上昇している。 ・どの企業も価格転嫁と人手確保が課題となっている。
機械工具	<ul style="list-style-type: none"> ・変化なし。 ・納品部品の納期の遅れが目立つ。
精肉卸	<ul style="list-style-type: none"> ・建設、製造業は良いかもしれないが、小売、サービス業については決して動向は良いとは思わない。浅間温泉など特に見通しが悪いと思う。ホテルにスナックなど用意し、お客様を外に出さないため、町の個人店が潰れ、町の活気が無くなったと感じる。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲17.6	▲20.6	▲15.2	▲16.1	▲12.9	▲20.7	▲16.7	▲33.3	▲18.2	▲11.5	▲10.7	▲38.7	▲8.0
販売客数	▲14.7	▲17.6	▲9.1	▲16.1	▲22.5	3.5	▲30.0	▲25.9	▲18.1	▲27.0	▲10.7	▲25.8	▲32.0
販売客単価	▲20.6	▲23.5	▲24.3	▲19.3	0.0	▲10.4	0.0	▲3.7	3.0	11.6	17.9	▲19.4	0.0
営業利益	▲20.6	▲17.6	▲21.2	▲9.7	▲9.7	▲20.7	▲20.0	▲33.3	▲15.1	▲26.9	▲25.0	▲54.9	▲20.0
見通し	▲8.8	▲5.9	▲9.1	▲3.2	3.3	3.4	▲13.3	7.4	0.0	▲3.9	▲3.6	3.2	4.0

<経営者の目・見方・etc>

印章	<ul style="list-style-type: none"> ・法人登記印廃止に反対する署名を皆様をお願いしたが、政府の方針を変えるのは難しそうである。法人設立で「電子認証」を選択すると、毎年数千円の手数料がかかるようになるのは知られているだろうか。金融機関が電子認証で法人口座を開設できるようになっているとしたら、法人銀行印も不要になる。印鑑制度を残すためには、「この印鑑を擦さないと契約した気にならない」と、お客様が仰ってくださるような素晴らしい印鑑を造ることが大切。 ・6月に入って忙しくなってきた。
住宅機器 ショッピングセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・セールの前倒しにより6月下旬の売上は好調に推移した。6月30日に開催された「ママフェス」では会場を分散させ、若い両親と未就学児をターゲットにしたことで、最近中心市街地から離れ気味であったヤングファミリーを呼び戻した。このような取り組みは今後のイベントのヒントにしたい。 ・外国の方が多い。対応できる品を作りたい。
薬局 菓子	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地は土日の人が少なくなった。イオンモールも開業して10ヵ月、平日の来客は少ないように思う。市街地と大型新店舗との二極分化が始まった。松本は商業観光にもっと力を入れるべきである。 ・秋物(セール対象外)が好評で、売上の数字を押し上げてくれた。盛夏の1枚着のコンセプトも明快で、新鮮なデザインは短期間で完売した。
婦人服	

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲26.6	▲44.4	0.0	▲15.0	▲20.0	0.0	▲23.5	▲25.0	▲35.0	▲11.1	▲25.0	▲22.2	▲21.1
販売客数	▲33.3	▲38.9	▲12.5	▲10.0	▲20.0	5.9	▲23.5	▲30.0	▲30.0	0.0	▲12.5	▲22.2	▲21.0
販売客単価	▲26.7	▲33.3	6.3	▲15.0	▲25.0	0.0	▲23.5	▲25.0	▲10.0	▲5.5	▲12.5	▲16.6	▲10.5
営業利益	▲26.6	▲38.9	▲25.0	▲10.0	▲25.0	0.0	▲23.5	▲30.0	▲35.0	▲22.2	▲31.2	▲33.3	▲36.9
見通し	6.7	▲5.6	▲6.2	0.0	▲5.0	5.9	▲17.6	25.0	5.0	5.5	▲6.2	▲5.6	21.0

<経営者の目・見方・etc>

寿司

・引き続き観光客の流入が多いと感じた1ヵ月であった。5年後、10年後の松本市の生産年齢人口等を考えても、観光需要の取り込みがますます重要になると改めて感じた。

そば

・まつもと大歌舞伎の開催中は大勢の人出で賑わったが、その後は静かな月だった。

仕出し料理

・人手不足も慢性的になり、新規の顧客獲得の営業活動もできなく、現状維持か、それ以上に減りつつある。

郷土料理

・宴会も少数で観光客の流れもまあまあの平年並の状況であった。

料理

・旬の素材を仕込んで食するお客様が少なく、ボーナス月にも関わらず盛り上がりなかった。

中華料理

・まつもと大歌舞伎があり、観劇のお客様や、役者さんたちが連日来店いただき大いに盛り上がった。

・縄手のかえるまつりが雨にもかかわらず大勢の人であふれていた。祭りの恩恵を受けた。

・サッカーワールドカップが始まったとたんに、TV観戦するためか、夜のお客様が減った気がする。2020年の東京オリンピックが始まったらどうなるのか不安である。

・チェーン店での安売りに対して個人店はあらゆる努力を必死の覚悟と共にお客様を笑顔で迎え、感謝の気持ちを持って送り出す心構えが必要である。

創作料理

・通年6月は売上げが落ちるが、今年は悪い中でも例年の70%であった。客の動きを今後期待したい。




食堂

・6月は雨の日が少なかったせいか、客の出足は良かった。中町から日の出町通りは歩行者が多くなり、特に土日の人出は多いが、車の渋滞は見られない。通行量が多くなっても店の売上にはならない。

居酒屋

・特に6月はイベントがない状態だったが、暑くお客様も多かった。

6. サービス業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月
				
まあまあ	まあまあ	まあまあ	まあまあ	まあまあ

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	29年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	0.0	2.4	▲22.0	▲4.2	4.9	0.0	▲2.5	▲9.5	0.0	▲2.7	10.2	2.3	8.5
販売客数	▲2.3	▲2.5	▲24.4	0.0	0.0	▲2.3	▲9.8	▲23.9	▲12.8	▲5.4	6.1	▲8.9	6.4
販売客単価	9.1	0.0	7.4	▲4.2	9.8	▲4.6	▲2.4	▲4.8	0.0	8.1	4.0	4.4	4.3
営業利益	▲2.3	4.9	▲24.4	▲4.3	▲4.9	▲2.3	▲9.8	▲16.7	▲5.1	▲5.4	8.1	▲2.3	4.3
見通し	4.5	0.0	▲4.9	8.5	▲4.9	0.0	0.0	▲4.7	2.6	8.1	6.1	8.9	14.8

<経営者の目・見方・etc>

自動車整備、
板金塗装
不動産賃貸
観光旅館

温泉旅館
ホテル

宿泊

写真
リラクゼーション
タクシー

機械設計
ソフトウェア

ホームクリーニング、リネンサプライ

- ・先月、今月は例年暇な時期に入るはずなのに今年はずいぶん忙しくなっている。うれしい限りである。例年と変わってきている理由がよくわからず、先が心配である。
- ・変動なし
- ・天気が良かった割には、客足は伸びず、特に残雪が少ないことから、日帰りの外国人(特に台湾)のツアーが減った。ワールドカップと梅雨の影響なのか、日本人の入込もよくなかった。泊りは相変わらず色々な国の方が多く、ワールドカップの対戦国については、気を遣うことがあった。
- ・信州松本の観光シーズン到来。天候にも恵まれ宿泊者も増大している。
- ・宿泊については好調に推移している。宴会について宴席規模が小規模になっている。
- ・6月7月の宴会は好調、8月の宴会の受注が鈍い。宿泊は去年がイオンモールの開店準備で良かったが今年は少し落ちた。
- ・季節は例年より早い動きであり、天候もあまり影響はなかった。今月は山行者、観光客共に少ない月ではある。売り物の自然環境はすばらしい時期だが何か対策が必要かもしれない。
- ・思いがけない仕事が入った。ありがたいことである。
- ・徐々にお客様の動きが出てきた。
- ・ガソリンに続いてオートガス価格も値上げ幅が大きかった。
- ・売上高、客数ともに前年並みであった。
- ・売上は落ちているが、まあまあ状態である。とんでもなく忙しいところもある。
- ・以前のような、システム提案に対して稟議が降りにくいという話はあまり聞かない。逆に、今期・来期で大規模なシステム改修を意図されているお客様がいるが、県内、熟練のSE、プログラマの不足が大きな問題であり、人数だけ確保して動かせる状況ではない。
- ・原油価格の高止まりが経営を圧迫している。

ペットサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・6月は来店数、売上高ともに前年を上回った。ペットホテルの利用が多かったのが要因と考えられる。
マナー講師	<ul style="list-style-type: none"> ・6月は中学の研修や大学の授業が毎年あり、安定している。年度初めは多種の事業所より研修があるが、この時期は特に動きはない。新入社員も5月が過ぎ、慣れてきた人と、疲れてしまっている人と分かれる。新人研修を受けた方はスキルアップや悩みの解決の研修をお勧めする。精神面のフォローは大切である。
美容	<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨に入り縮毛矯正の需要が高くなり、単価を上げやすい時期なのにやたらと矯正の割引サービスが目立つ。 ・新しい薬剤を入れればそれだけでよいという美容業界の流れが技術の低迷を加速している。
ネイル	<ul style="list-style-type: none"> ・6月は全国7都市の会場でジェルネイル検定試験が実施された。3,301名が受験し、どの会場も真剣さと熱気で満ちていた。また、中国でも「JNA国際ネイリスト検定試験3級」が開催され、ネイリストという職業が発展していると感じた。
測量、建設コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> ・6月に入り仕事が少しずつ出てきた。若手の人材が不足しているため、採用に力を入れているが難しい。業界全体が若手不足である。
教育業	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに入る7月に夏季講習などが始まるため、受験を控えている生徒はそのまま総合塾に移行する可能性も出てきそうな気配がある。